



浜北医療生協のようす
(2017年1月1日現在)

組合員 4,511 世帯
出資金 176,228 千円
班のかず 25 班



発行所
浜北医療生活協同組合
〒434-0034 浜松市浜北区高畑18
TEL(053)585-5715
FAX(053)584-1551
http://www.mcp-hamakita.jp/

加入のお問い合わせは上記石田までお願いします。
出資金・増資の振込は下記へお願いします
振込先: 浜松信用金庫浜北支店 No.177859
浜北医療生活協同組合 渥美邦夫

謹賀新年 さらに輝け 浜北医療生協の 医療・介護・ささえあい!!!



デイサービスにじの家
利用者様の作品です。ボランティアの指導の
もとつまみ細工のきれいな花が咲きました。



デイサービスきたはまの郷
新年がいい年であるように願いを込めて作
りました。



東部支部
「ゆずの会」の作品です。

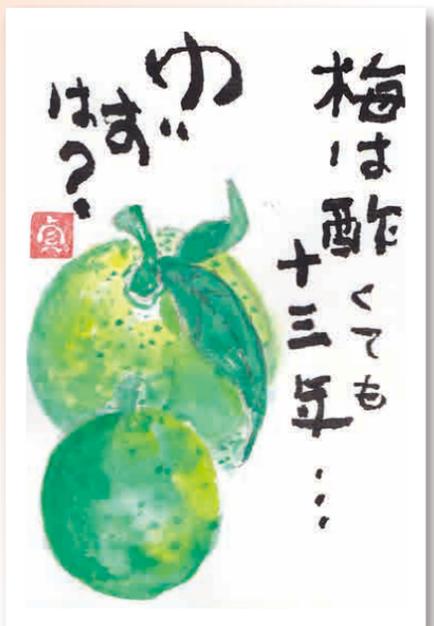
アフガン紀行



アフガニスタンの位置
古代シルクロードの要
衝として栄えた



にじの家では、時々利用者がみんなでおやつをつくりま
す。ツリーケーキを作りました。おいしそう!



東部支部の絵手紙
「ゆずの会」のテーマを絵にし
ました。

新年あけましておめでとうござ
います。
新年中は、組合員活動へのご
参加と事業活動へのご協力、あ
りがとうございました。
シヨートステイは、国から支
払われる1利用時間当たりの介
護報酬が、デイサービスの約3
分の1と低いため、赤字が続い
ていますが、シヨートステイの
職員をはじめとして全職員、そ
して組合員ボランティアのが
んばりで、昨年度より赤字を25%
ほど減らすめどがつつきつあり
ます。
小泉内閣に引き続き、安倍内
閣による医療・介護報酬の引き
下げにより、事業所の収益は減
り、利用者の負担が増え、医療
と介護の利用困難の方が増えて
います。
今年もまた、健康づくりチャ
レンジや各種健康づくりに取り
組んで、いつまでも元気で、そ
して、健康づくりを阻む医療・
介護の改悪に、みんなで反対し
ましょう。



新年あいさつ
理事長
渥美 邦夫

組合員の結びつきを、今年も支部活動を広げよう

◆鹿玉支部
奥大井の自然を満喫

鹿玉支部のバス旅行は、十一月六日に奥大井の接岨峡に行ってきました。

千頭駅からトロッコ列車に乗り、奥大井湖上駅で下車、目的の接岨峡温泉をめざし90分ほどの散策。8つの吊橋を巡るアドベンチャーウォークは、思いのほか気軽に歩きました。

紅葉には少し早すぎましたが、天候に恵まれ、秘湯にも入ることができました。長島ダム45mの大噴水も見物でき、ラッキーでした。



千頭駅からトロッコ列車で接岨峡へ

◆浜名支部

バスハイイク参加者を手ぶらで帰さない。何かのおみやげを持ち帰ってもらう。

目的地到着時刻当てクイズ、川柳投句賞、ビンゴゲーム、参加ありがとう賞。すべてに豪華賞品付。

二〇一六年秋のバスハイイクは、

37人の参加者。

コースは、ねむの木学園、同美術館、吉行淳之介文学館、小国神社。

浜松に住んで、ねむの木学園をまだ、見ていない人も多し。参加費4,500円(弁当付き)



ねむの木子ども美術館【どんぐり】

◆北部支部

北部支部恒例、秋のバス旅行は信長が天下統一を夢見、秀吉が築いた近江商人の故郷、近江八幡へ行ってきました

十二月二十三日(祝) 31人を乗せバスは青空の中出発しました。豪商・藤井彦四郎の資料館では「SKY(スキー)? 毛糸」の展示に昔これで編んだね。懐かしーと。

次に、幻の安土城天守信長の館の黄金の部屋に「すごい! いうわー! の声」、圧巻でした。

そして、日牟礼八幡宮へ到着しました。神社は大祭と七五三の家族などにぎわっていました。参拝を済ませると無病息災のお餅をいただき食べました。ロープウェイに乗り

八幡山山頂へ、近江の町が見下ろせて素敵でした。

バスガイドさんの機転にとんだ対応もあり、子どもたちからの「なぞなぞ」は大人たちも巻き込んで大笑いの連続でした。



信長の黄金の部屋

◆東部支部

十一月十三日、東部支部のバス旅行で山中湖に行ってきました。二年の内でもこれほど天気が良い日は何日もないだろう」と思われる素晴らしい秋晴れで、そびえたつ富士の雄姿を存分に味わうことができました。

山中湖の水陸両用バス「カバ号」も、初めての素敵な体験でした。樹海を抜け、山中湖に突入する瞬間はなかなかのもです。参加者42名、全員大



満足の旅でした。

バスの中の寄せ集め俳句。山「よき友と 秋日和かな 山中湖」「ひかる富士 カババス 乗るや 秋の空」

◆伎倍支部
直虎の地を皆と一緒

十一月二十四日、傘をさしての乗車、伎倍支部のバスハイイクでした。24名の組合員さんが今話題の直虎ゆかりの地を目的に市内北区の旅を楽しんできました。

最近はどこもかしこも直虎のすごさにびっくりです。女城主というだけでとても興味深さを感じていました。龍潭寺をはじめ近隣のお寺を心静かにゆつたりとした気持ちで巡ることができました。お昼には目でも楽しむことができた色とりどりの直虎御膳に感動、ちよびり贅沢な一日でした。

家族では通り過ぎてしまう近場のところも仲間と一緒には巡り歩いた日は今後支部の活動に何かをもたらせてくれるものと思います。

テレビの大河ドラマの幕開けとともに...



◆積志・中郡支部

十一月二十七日 積志協働センターにて恒例の「健康チェック」が行われました。今回は健康づくり委員、看護師2名の応援を受けてとてもスムーズに行われ予定の時間が来てしまいました。

今回は受けた方は26名、その内非組合員が18名もいます。中には「昨年も受けたけど今年も行いますか? 日時は?」と支部長宅に電話が入りその方も参加されました。

今年の総代会で決議された「仲間づくり・増資の推進」の対象者とし、運営委員会を中心に行動して行こうと スタッフ皆で話し合っています。



◆笠井支部

笠井支部では、秋のバスハイイクに、掛川城と大須賀町の横須賀の街並みを見て、福田港を巡るコースでした。

十一月五日(土)、参加者は、十八名の参加でした。

掛川城では、天守閣まで登り四方を見渡し、遙か遠くに見える、富士山を望むことができました。

横須賀では、庭園で有名な

清水邸で、お庭を拝見し、お抹茶をいただいたり、「チロリン村」のお弁当をいただきました。

参加者からも大変喜ばれました。食後の時間、歌をうたったり、街並みの散歩、横須賀城址の見学もできました。

福田港にある「ふれあい渚交流館」に立ち寄り、シラス等のお土産を買いこみ、帰路に着きました。



◆北浜支部

月2回のミニデイサービスひまわりの会はすっかり定着しています。「今年も、ひまわりの会や助け愛ネットなど、ボランティア活動や健康づくりに元気に集まりましょう。」

◆北浜南支部

運営委員 花井 裕子
北浜南支部初めてのもちつき大会を十一月十日(土)、寺島公会堂で行いました。参加者は30名くらいでしたが元気な子供たちや人生の先輩の方々の明るい笑顔であふれました。北浜支部の協力もあり支部活動にとってよい「はじめの一歩」となりました。

ひまわり畑...健康づくりチャレンジ、ストレッチも挑戦しています。図式でわかりやすいので毎日楽しく取り組んでいます。浜北区 Hさん

アフガニスタンの医療と教育を支援するNGOが静岡で生まれまし
た。このNGOはアフガニスタン南部で最も治安が悪いというカンダハル市で診療所を開



カンダハルはアフガニスタン南部の中心都市



カンダハル郊外の荒野に一人たたずむ

私のアフガン紀行

生協きたはま診療所 所長 間間 元

はじめて、何故カンダハルへ行ったのか

今から十四年前、米国によるアフガニスタンへの空爆に対する抗議と救援活動をきっかけに、カレーズの会という

設し、この十四年間日本からの支援を得ながら、この間にのべ40万人を超える人々に医療を提供してきました。機会があればこの会の役員の一人として、アフガニスタン出身のレシャード理事長（島田市で医院開業）の一時帰国に同行してぜひ訪問したいと思っていました。これまで治安の悪化という理由で実現できませんでした。それが今回ようやく大使館からビザが下り、訪問できることになったのです。

カンダハルでは現地の人々の熱い思いに触れ、「平和国家」日本への信頼を肌で感じてきましたのでご紹介しましょう。

アフガニスタン・カンダハルからのメール

二〇一六年十二月四日～十六日

① 二〇一六年十一月五日

20:50 (カンダハル)

朝7時カンダハル空港に到着。診療所のダウド事務長と日本語が堪能な好青年ウイサ君の迎えあり。早速診療所を訪問。外にも溢れる大勢の患者に目が熱くなる。昼食をレシャード宅で馳走になる。91歳のご母堂ズイナブさんも一緒に三世代の歓迎の宴にまた胸が熱くなる。その後ウイサ君の案内で外国人専用のホテルにチェックイン。私の格好はガイーラというアフガンの伝統的衣装スタイルです。

③ 十一月七日 3:39

今カンダハルにいる日本人は二人。そのうちの一人、国境なき医師団(MSF)の看護師がカレーズの診療所に訪ねてきました。もう一人は海外医療協力で派遣された一人が保健省の病院にいるのと外出入り出来ないため、こちらから明後日に訪ねることにした。いわば私が三人目というわけです。安全とは言えない地域にも医療協力が必要なので、私の渡航申請にも外務省



国境なき医師団・カンダハル結核診療所の日本人看護師さん

は目をつぶらざるを得なかったでしょう。

④ 十一月七日 19:56

今診療所から実業家の好意を受けて経営する会社のゲストハウスにきました。診療所から歩いて来られる距離にあり送迎は不要なので便利です。部屋も広い、ベッドも広い、レシャード先生もアフガンのどのホテルより豪華と言っています。入り口から部屋までに小銃を抱えた警備員7、8人が出迎える環境に警備兵や警官の姿があり、こうした風景も見慣れました。診療所のスタッフのみなさんもとて親切です。ゲストハウスの近くにはスーパーマーケットもあり、日本で言えば新都心というところです。

⑥ 十一月九日 18:44

今朝はアンサリメーナにある日本の外務省とカレーズの会の援助で作られた小中学校に行きました。学校の設備、例えば教室が不足しテント教室が7棟あり、黒板が傷んでいたりと、教科書も不足し、後から入った子供が持っているなど政府の支援がないと教頭先生が嘆いていました。学校の先生も郊外の村にあるため応募がないということでした。しかし子供達は元気そのものです。

⑤ 十一月九日 12:35 昨日午前中にカンダハル市内にある国際赤十字(ICRC)を訪ねました。日本人の職員に会っておこうと出掛けたのですが向こう側の責任者など5人が出迎え、レシャード先生やシエルシャード現地事務所長のカレーズの会の医療活動の話に興味深く聞いていました。といっても会話は全て英語なので私にはついていけなかったのですが。国際赤十字は原則としてメンバーの出身国は表に出さないように



ハジ・ニカ小学校の男子用テント教室

⑦ 十一月十日 12・31

今まで二カ所のヘルスポストを訪ねました。いずれもカランダール郊外の村にありボランティアがいて、住民の相談にのり、病状により必要な人には診療所へ連れて行きます。診療所では月2回程度のボランティアへの教育があり、分かり安い保健医療の知識を指導しているとのこと。診療所では毎朝診療が始まる前に集まっている患者や付き添いの家族を対象に医師やスタッフが教育的な話をしています。結核の症状や子供のワクチンの話をしていました。まだまだ結核が多いとのこと、麻疹やポリオもあるなど感染症対策が中心です。私

⑧ 十一月十日 22・46

今日は職員によるミーティングがあり院長から要望が出されました。十四年に及ぶ日本のカレーズの会の支援に感謝するとともに、これだけ職員が頑張っているなかで給料の引き下げがあり、インフレの中で職員の生活も苦しいことを是非理解してほしいということ。カレーズの会の財政事情から、職員増加分の手当てが出来ず引き下げた事情があるのです。余裕のある患者には薬剤の無料支給をやめて薬剤購入費用を節約出来ないかという意見も出されていきました。

⑨ 十一月十一日 9・41

アフガニスタンの人々の不幸は長い間の外国軍の武力支配と主導権を争つての内戦の頻発により国内政治の方針が定まらないことです。医療や保健をどう整備するのも実効性のある政策が見えて来ません。カレーズの診療所を金銭的に支えているのは今のところ日本の支援だけで、医療は無料が長い社会的慣習でありながら建て前だけで、国から支給される運営金は県立病院などに限られ、それでさえも国際支援に頼っているようです。すこし余裕のある住民達は深刻な病気になる隣国のイランやパキスタン、時にはインドまで行くようで、診



カレーズの診療所で患者を診察する

療所に頼って来る患者の中にもパキスタンまで行って診てもらったがやはり心配なので来たという人がいました。そういう余裕のある人には診察料はとれませんが薬は貧しい人に出さなければならぬと説明して処方箋だけです。患者はそれで街の薬局で自費で買います。胸のレントゲンも負担してもらえない人には100アフガニ約150円払ってもらいます。診療所で分娩しても無料でやっている健康保険や年金という制度がないのですが所得税は5%天引きで払うのです。

⑩ 十一月十一日 10・49

こちらでは情報はテレビとインターネットです。トランプの勝利でまた良くないことが起こるのではないかと心配する人が多いようです。新聞は字が読めない人も多いため週刊で発行されて部数も多くないようです。若い人達は政治に関心を持って政治

の世界があまりにも血縁やコネ、汚職の世界なので諦めの気分が多いようです。宗教的に厳格で腐敗を許さないタリバンが一時実権を握ったのもこうした背景があったのです。政治的に無力で、診療所につめかけて来る遊牧民の多くは貧しいので教育の機会も少なく、字が読めない人も多く、保健教育も紙芝居のように絵で説明しています。診療所には口コミで来るようすが携帯電話を持っていく人もいますから情報源はいろいろあるのでしょうか。

⑪ 十一月十一日 12・57

自分の顔を見ると秋の日差しで日焼けして日本を発つて以来ヒゲが伸び、おまけにこちらのアフガニガールという民族衣を来ているので会う人が異口同音にアフガニスタン人と変わらないといっています。ゲストハウスの職員も説明されるまで日本人とは思わなかったそうです。一般家庭はもちろんホテルにもシャワーだけでバスタブがないのです。が、今のゲストハウスにはバスタブがあり使えますがたつぷりと湯を入れると湯が途中で水になってしまいあわてました。乾燥地帯で雨がほとんど降らない国ですから水が貴重なので風呂に使うことはあり得ないことなのです。だから肌も唇もカサカサし、のど

も渇き、尿量も減っています。何かと言えばお茶を飲むのはこうした自然環境に適した生活の知恵なのです。お酒というものが無い生活にもすっかり馴染みますが、男ばかりの宴に酒がないのも変わった光景です。だからアルコールによる健康被害と全く無縁な社会です。タバコを吸う人もほとんど見かけません。

⑫ 十一月十二日 8・33

このところカンダハルでは全く雨が降りません。一昨日の午後カンダハル郊外に職員とピクニックに出かけたのですが、川に水はなく、したがって川をせき止めて作った広いダムにも水はなく、大地は乾ききっています。では飲み水はどこから？それは40メートル以上の深さの井戸からです。ザクロなどの農園に勢いよい水が出ていたので



カレーズの診療所で診察を待つ人々

驚いたのですがなんと深さ150メートルの井戸とのこと。ピクニックに参加した女性達は男性とは別の集団でキヤアキヤアとはしゃいでいました。日頃外出するのが難しい女性達なのでしゃやぎまくっているなどレシャード先生の言。女性達は黒づくめの服ですが顔を隠すことなく化粧している人も少なくありません。職員は職種の分け隔てなくごやかで診療所の仕事に誇りを持っていることがよくわかります。

⑬ 十一月十二日 22・53

〈印象に残ること〉
なんとといっても職員が和やかなこと。朝会う人ごとにハグを繰り返して感謝の気持ちと言葉にして丁寧な挨拶をします。相手が先生だろうと用務員だろうと関係ありません。2、3回会っただけの私にもハグをしてくる職員もいます。多くは握手をしてお変わりありませんかという意味らしい挨拶をながながしてくるのですが私はただ握手をしてサラーム、つまりおはようございます、とか、マナーナ、ありがとうございますと答えるだけですが。こうした分け隔てない関係が出来ているのは皆が診療所の仕事に誇りを持っているからではないかと感じました。

今年も患者・利用者さんと心をかよわせて!!

生協きたはま診療所

今年のご目標

事務長 清水 信子

診療所は間間先生を中心に向江先生、中野先生、看護師6名、放射線技師1名、事務5名です。12月からは河内先生をお迎えします。

「かかりやすい、ほっとする安心・安全の診療所をめざします。」を目標に1年間取り組んできました。

生協の診療所として、利用者者を第一に考え、その人がその人らしく幸せになれるお手伝いを今年も診療所と他事業



所が協力してできるように共にながらびます。

利用者の方も職員も笑顔になれる診療所をめざします!!

生協デイサービスにじの家

にじの家では、笑顔絶やさないデイサービス作りをスタッフ一同で心掛けています。

一年目はフラワーアレンジメントに挑戦。二年目は簡単おやつ作り挑戦しています。食材を切つてこねて丸めて焼いて、お饅頭やフルーツパフェなどを作りました。三年目になる今年は、利用者様ご家族など周りの方にも参加して頂けるような企画をしていければと思っています。



広くデイサービスの様子を知っていただき、身近に感じて頂けるようにしていきたいと思ひます。

ショートステイきたはまの郷

所長 橋爪伸江

明けましておめでとうございます。ショートステイは、24時間の介護支援がなければ生活できない高齢者が、住み慣れたご自宅で暮らしていくために短期間ご利用いただく施設です。毎週2泊3日の利用や、ご家族の都合で長めに利用して下さる方など、在宅での介護の条件に合わせたケアプランが組まれていきます。「ありがたいね」「また来てくださいね」と気軽に声を掛け合い、長く利用していただける施設にしていきたいと思ひます。本年もよろしくお願ひいたします。

生協ヘルパーステーション

ヘルパーステーションでは、しつかり者の長女、時々抜けてる次女、体の大きい三女、天然美人の四女、口は悪いが頼りになる五女の5人娘が勤務しています。一番安心でき、くつろげるご自宅で、出来る限り普段通りの生活を送れるよう、利用者とその家族の心に寄り添い、希望に添った支援を行っています。お近くに、ご自身の生活に困難さを感じたりする方、家

族の介護にお困りの方がいらつしゃつたら、ヘルパーステーションに連絡下さい。5人娘が駆けつけます。



生協訪問看護ステーションあおぞら

明けましておめでとうございます。

昨年中も大変お世話になりました。今年もスタッフ一同、明るく、温かで、安心感の持てる看護を行っていききたいと思ひます。

昨年から理学療法士による訪問リハビリテーションを開始されました。ベテランのリハビリの専門家による運動機能の評価と具体的な運動方法を、ご自宅で一緒に行っています。訪問リハビリを利用して下さる方からは、「歩行



のペースが良くなった。」「リハビリを楽しみにしている。」という声が寄せられています。訪問看護と訪問リハビリテーションの利用について、お気軽にご相談下さい。本年もよろしくお願ひ致します。

デイサービスきたはまの郷

介護福祉士 生熊ルミ

きたはまの郷が開設して早いもので1年半が過ぎました。「ああしよう、こうしよう。」「こんな事がしたいね。」などみんなの意見やアイデアを取り入れ少しずつではありますが居心地の良い場所になったのではないかと思っています。今年も利用者さんの生き生きとした表情や明るい笑顔がたくさん見られるように職員一同力を合わせ頑張ります。

生協本部

専務理事 加藤 恒一

あけましておめでとうございします。今年もよろしくお願ひします。

医療生協本部の職員は専務が交代し、加藤専務と安井常務が加わりました。事務の3人はそれぞれ診療所内本部、にじの家、きたはまの郷と3カ所に分かれて仕事をしています。(写真)

仕事の内容は、経理、総務、

組合員情報管理、そして介護保険事務等です。とにかく明るい3人娘です。診療所や介護施設等で見かけたら、ぜひ気軽に声をかけてください。



生協ケアプランセンター

明けましておめでとうございします。「自分らしい生き方」を支えるという指針を大切に。医療生協の「地域の力」「医療と介護の連携」をしつかりとマネジメント実践できるよう緑の下の方力持ちに徹していきます。今年も西年です。物事成就の良き年となるよう皆さまと一緒に前進していききたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。



新しい医師が診療に加わります

生協きたはま診療所

十二月から新しい医師が診療に入られますのでよろしくお願ひいたします。(月、土を担当)

(略歴)

南カリフォルニア大学卒
昭和大学医学部卒
昭和六十年に河内クリニックを開業
平成二十八年七月同クリニックを退任し浜松の日本内科学会、消化器学会認定医・日本医師会認定産業医



河内 正男先生
浜松市北区在住

